（別紙５）

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	サカフル宇都宮店

公表日　2025 年 2 月 1 日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用児童が発達支援室内のスペースとの関係で適切である。	100%	0%	構造的工夫・保育室内に設で活動をしております。
	2	利用児童やこどもの特徴に対して、職員の配置数は適切である。	100%	0%	教育や保育と療育のあり職員を配置して、人員配事を高めております。遅れた対応ができるように余裕を保育に行っております。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造された環境になっている。また、事業所の設備は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされている。	100%	0%	必要に応じて職員がフォローを行なっております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、こどもへの清潔に対する対応となっている。	100%	0%	毎日、清掃を行っております。環境設定に関してもりあがり話しいを行っております。
	5	必要に応じて、こどもが個別の相談や指導を利用することが図められる環境になっている。	100%	0%	ご要望に応じて、個別対応や集団での関わり方や全般的な指導を記録表に取り入れております。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（評価設定と振り返り）に、出べ職員が参画している。	100%	0%	研究で開始件数しております。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	100%	0%	モニタリングや電話で保護時に保護者さまのご要望を伝っております。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	100%	0%	日々のミーティングで、外性、検討、改善に努めております。
	9	第三者による合外部評価を行い、評価結果等を業務改善につなげている。	100%	0%	今後検討していきたいと思います。
	10	職員の資質向上を図るために、研修を受講する機会や法人内部で研修を開催する機会が確保されている。	100%	0%	全体研修のほかに、オンラインでの研修動画の視聴による知識向上に力を入れております。
適切な支援の提供	11	通園に支援プログラムが作成、公表されている。	100%	0%	レクレーションカレンダー作成の際、スタッフで個別内容の確認、見直し考日ない、公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している。	100%	0%	モニタリングや課題を実施しております。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの全般に関する職員が外部研修の下で、こどもの最後の利益を考慮した検討が行われている。	100%	0%	お子さまの最後の利益を考慮し検討の上、非常勤職員を含めた全ての職員に外部研修ができる場、情報共有しております。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われている。	100%	0%	情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。
	15	こどもの最近行動の状況を、標準化された方法を用いたフォーマルなアセスメント、日々の行動観察などを通がインフォーマルなアセスメントを使用する事により確認している。	100%	0%	アセスメントツールを年間に応じた適切行動の参考として活用しております。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「関係支援」、「家族支援」、「地域支援」及び「地域連携・関係調整」のねらい及び支援内容を踏まえた上で、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されている。	100%	0%	それぞれのお子さまに向けた支援をふまえた上で、検討しております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っている。	100%	0%	毎月職員間で相談し、対策した活動プログラムになるよう設定しております。
	18	活動プログラムが固定化しないような工夫をしている。	100%	0%	スケジュ間で知識を深に思いながらプログラムを行っております。一定期間ごとにプログラムの内容の変更・改善を検討するなどの工夫をしております。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適切組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われている。	100%	0%	ご要望に応じて、個別対応や集団での関わり方や全般的な指導を記録表に取り入れております。
	20	支援開始前には職員間でよく打ち合わせを行い、その日に行われる支援の内容や目的が共に確認し、チームで連携して支援を行っている。	92%	8%	会議時間が取りることが多い為、放課後勤務を中心に情報共有為ふまえる。記録やICT面によるコミュニケーションなど確認に努めております。
	21	支援終了後には、職員間でよく打ち合わせを行い、その日に行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している。	80%	17%	会議時間が取りることが多い為、同様に放課後勤務を中心に情報共有為ふまえる。記録やICT面によるコミュニケーションなど確認に努めております。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている。	100%	0%	客観的に分析できるように事実と意見を分けて記入するように努めております。また、モニタリングの際は日々のケア記録を参考に次の目標を考えております。
	23	定期にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を検討し、適切な見直しを行っている。	100%	0%	お子さまの状況や必要性に応じて適切な見直しを行っております。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を適切組み合わせて支援を行っている。	100%	0%	基本活動を考慮した上でレクリエーションを設定しております。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている場合、自己決定を支援するための支援を行っている。	100%	0%	様々なレクリエーションを通じて、自己決定を尊重した支援を行っております。
関係機関や保護者との連携	26	保護者相談や放課後等デイサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した専門家参画している。	100%	0%	お子さまの状況をより理解している職員が参加出来るように努めております。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整っている。	100%	0%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	28	学校との情報共有（地域区分届・行事予定表の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（通園時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている。	100%	0%	必要に応じて連絡連携しております。
	29	放学時に利用している保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている。	100%	0%	参加する児童発達支援事業との情報共有を積極的に行なっております。
	30	学校を訪問し、放課後等デイサービスから保護者同伴で入学説明等へ参加する場合、それぞれの支援内容等の情報を提供する取っている。	100%	0%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けている。	100%	0%	問題があった際には情報交換を行います。研修の場合があれば積極的に参加させていただきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと交流する機会があるか。	25%	75%	機会があれば参加していきたいと思います。
	33	「向日市版」協議会等へ積極的に参加している。	67%	33%	機会があれば参加していきたいと思います。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っている。	100%	0%	会話等の際に お子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子記録を提供させていただくく等して共通理解が深まるように努めております。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の場合や情報提供等を行っている。	83%	17%	こちらでの対応方法等を「お日の様子」として日々情報発信。ご家庭での支援にご活用いただけるよう編ドお伝えしていきたいと思います。
保護者への説明等	36	通園時間、支援プログラム、利用者負担について丁寧な説明を行っている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	37	放課後等デイサービス設計を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最後の利益の最大限考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	39	家族宛からの子育て相談や悩みに対する相談に適切に対応し、面談や必要な助言と支援を行っている。	100%	0%	ご希望に応じて面談、ご相談に応じております。
	40	公園の遊び道具を使用することや、保護者会等を開催する事により、保護者同士で交流する機会を設けている場合、また、ホームページ等を活用して交流する機会を設けている場合の支援をしている。	33%	67%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している。	100%	0%	各事業所の実情を踏まえ設定するとともに、各事業所にご相談しやすい内容は、組織受付窓口に相談させるように整えており、苦情等に対しては迅速に対応しております。
	42	定期的に通信を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要やご様子など、通園体験の感想をこどもや保護者に対して発信している。	100%	0%	月ごとに活動予定を発信し、また、毎日ブログを作成し、活動の様子をご確認いただける場が組み作りしております。
	43	個人情報の取扱いに十分留意している。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や取扱時とどう作入れております。
	44	保護のあるこどもや保護者との関係の調整や関係伝達のための配慮をしている。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	45	事業所が日常に地域住民を招待する場、地域に開かれた事業運営を図っている。	42%	58%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルなど策定し、職員や事故等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している。	92%	8%	必要に応じて実施を行っております。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、訓練その他必要な訓練を行っている。	83%	17%	
	48	事故に、保護中不慮の接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している。	100%	0%	お子さまのご状況については事前に確認しております。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされている。	92%	8%	一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしております。
	50	女子計画を作成し、女子習慣に必要な環境や訓練、その他必要な措置を講じる場、女子習慣が十分されたかで女子が行われている。	100%	0%	定期的に行っております。
	51	こどもの安全確保に関して、事故等との連携が図られるよう、女子計画に基づく具体的内容について、事故等へ通知している。	92%	8%	必要に応じて実施を行っております。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた対策について検討をしている。	92%	8%	事例集ではありませんが、出来ごとごとを記入等し、事業所でヒヤリハットを確認共有しております。また、他事業所の取環境とも共有する機会を整えております。
	53	感染を防止するため、職員の研修機会を確保する場、適切な対応をしている。	100%	0%	感染防止委員会を設置するとともに、定期的な全体研修を行い、感染防止に努めております。
	54	どのような場合にやそれを保ず事故対策を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前にわかに説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している。	92%	8%	安全性・身代金性・一時性を満たしている場合など、身体拘束を行った場合には記録を行っております。また、計画書にも記載しております。

※この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

（別紙５）

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	サカフル小山店

公表日　2025 年 2 月 1 日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用児童が発達支援室内のスペースとの関係で適切である。	100%	0%	当月に適切なスペースを確保しています。
	2	利用児童やこどもの特徴に応じて、職員の配置数は適切である。	100%	0%	教育や経験と資格のある職員を配置して、人員配事を高めております。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造された環境になっている。また、事業所の設備は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされている。	100%	0%	必要に応じて職員がフォローを行なっております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、こどもへの清潔に対する対応となっている。	100%	0%	毎日、清掃を行っております。環境設定に関してもりあがった話しあいを行っております。
	5	必要に応じて、こどもが個別の相談や指導を利用することが図められる環境になっている。	100%	0%	ご要望に応じて、個別対応や集団での話ができるお外や会議室を設置に取り入れております。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（評価設定と振り返り）に、出く職員が参画している。	100%	0%	定期的に会議を開催して話しあいを行っております。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	100%	0%	アンケート結果や、面接やコミュニケーションから保護者さまのお声を頂戴し、改善できるように図めていきたいと思います。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	100%	0%	日々のミーティングで、外性、検討、改善に図めております。
	9	第三者による合外部評価を行い、評価結果等を業務改善につなげている。	100%	0%	今後検討していきたいと思います。
	10	職員の資質向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されている。	100%	0%	全体研修のほかに、研修動画の視聴による知識向上に力を入れております。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されている。	100%	0%	レクレーションカレンダー作成の際、スタッフで個別内容の確認、見直し考日ない、公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している。	100%	0%	アセスメントを行い、保護者さまからのご意見やお子さまの様子をお伺いし、計画を作成出来るように図めております。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が外部研修の下で、こどもの最後の利益を考慮した検討が行われている。	100%	0%	お子さまの最後の利益を考慮し検討の上、非常勤職員を含めた下の職員に外部研修下である後、情報共有しております。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われている。	100%	0%	情報共有を行い、計画に沿った支援を行っております。
	15	こどもの最近行動の状況を、標準化された尺ールを用いたフォーマルなアセスメント、日々のく観察記録（ビ）及びインフォーマルなアセスメントを活用する事により確認している。	100%	0%	アセスメントツールを当部に出した適切行動の参考として活用しております。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「関係支援」及び「地域支援・関係連携」のねらい及び支援内容を踏まえた上で、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されている。	100%	0%	それぞれのお子さまに合った支援をふまえた上で、検討しております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っている。	100%	0%	毎月職員間で相談し、対策した活動プログラムになるよう設定しております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫している。	100%	0%	改善が必要な場合、内容を見直して反映させるようにしております。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適切組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われている。	100%	0%	ご要望に応じて、個別対応や集団での話ができるお外や会議室を設置に取り入れております。
	20	支援開始前には職員間でよく打ち合わせをし、その日に行われる支援の内容や目的が共に確認し、チームで連携して支援を行っている。	92%	8%	会議時間が取れることが多い為、放課後等を中心に情報共有出来るよう、記録やLINEによるコミュニケーションなど確認に図めております。
	21	支援終了後には、職員間でよく打ち合わせをし、その日に行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している。	83%	17%	会議時間が取れることが多い為、同様に放課後等を中心に情報共有出来るよう、記録やLINEによるコミュニケーションなど確認に図めております。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている。	100%	0%	客観的に分析できるように事実と意見を分けて記入するように図めております。また、ヒニ ヒングンクの際は日々のケア記録を参考に次の目標を考えております。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を検討し、適切な見直しを行っている。	100%	0%	お子さまの状況や必要性に応じて適切な見直しを行っております。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を意識組み合わせて支援を行っている。	100%	0%	基本活動を考慮した上でレクリエーションを設定しております。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている場合、自己決定を支援する力を育てるための支援を行っている。	100%	0%	様々なレクリエーションを通じて、自己決定を尊重した支援を行っております。
関係機関や保護者との連携	26	保護者相談や療育相談サービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した専門家参画している。	100%	0%	お子さまの状況をより理解している職員が参加出来るように図めております。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整っている。	100%	0%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	28	学校との情報共有（地域交流・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（通園時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている。	100%	0%	必要に応じて連絡連携してあります。
	29	放学時に利用している保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に図めている。	100%	0%	参加する児童発達支援事業所との情報共有を積極的に行なっております。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する取っている。	100%	0%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けている。	100%	0%	問題があった際には情報交換を行います。研修の場合があれば積極的に参加させていただきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	25%	75%	機会があれば参加していきたいと思います。
	33	「向こう三軒」協議会等へ積極的に参加している。	67%	33%	機会があれば参加していきたいと思います。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っている。	100%	0%	会話等の際に お子さまの様子をお伝えさせていただいたり、電子記録を提供させていただくく等して共通理解が持てるように図めております。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の場合や情報提供等を行っている。	83%	17%	こちらでの対応方法等を「お日々様子」として日々情報発信。ご家庭での支援にご活用いただけるよう編ひお伝えしていきたいと思います。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最後の利益の最大限考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ている。	100%	0%	ご契約の際に説明させていただき、また、ご不明点に関しては随時ご説明させていただいております。
	39	家族等からの子育て相談や悩みに対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っている。	100%	0%	ご要望に応じて適宜、ご相談にあっております。
	40	公園の遊び道具を使用することや、保護者会等を開催する事により、保護者同士で交流する機会を設けている場合、また、ゆ ょうぶい同士で交流する機会を設ける場合の支援をしている。	33%	67%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している。	100%	0%	各事業所の苦情窓口を設定するとともに、各事業所にご相談しやすい内容は、総合受付窓口に相談させ易ようにも努めており、苦情を扱った際には迅速に対応しております。
	42	定期的に通信を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要やイ行事予定、連絡事項の情報をこどもや保護者に対して発信している。	100%	0%	月ごとに活動予定を発信し、また、毎日ブログを作成し、活動の様子をご確認いただける取り組みを行っております。
	43	個人情報の取扱いに十分留意している。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や取扱方法に力を入れております。
	44	保護のあるこどもや保護者との関係の調整や関係伝達のための配慮をしている。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように図めております。
	45	事業所が日常に地域住民を招待する場、地域に開かれた事業運営を図っている。	42%	58%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や事故等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している。	92%	8%	必要に応じて周知を行っております。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、訓練その他必要な訓練を行っている。	83%	17%	
	48	事故に、保護や不審侵入、てんかん発作等のこどもの状況を確認している。	100%	0%	お子さまのご状況については事前に確認しております。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされている。	92%	8%	一覧表を作成し職員が一目で分かるような工夫をしております。
	50	女性計画を作成し、女性管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じ、女性管理が十分されたかで女性が行われている。	100%	0%	定期的に行っております。
	51	こどもの安全確保に関して、事故等との連携が図られるよう、女性計画に基づく取組内容について、事故等へ周知している。	92%	8%	必要に応じて周知を行っております。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた対策について検討をしている。	92%	8%	事例集ではありませんが、当部などとも記入有し、事業所でヒヤリハットを確認共有しております。また、他事業所の取環境とも共有する機会を整えております。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する場、適切な対応をしている。	100%	0%	虐待防止委員会を設置するとともに、定期的な全体研修を行い、虐待防止に図めております。
	54	どのような場合にやそれを保ず事故発生を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前にわかに説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している。	92%	8%	切迫性・非代謝性・一時性を満たしている場合など、身体拘束を行った場合には記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

※この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

（別紙５）

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	サカフル柏橋店

公表日　2025 年 2 月 1 日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が事業を実施するスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	0
	2	利用定員がこどもの利用に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	0
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	0%	0
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こどもの遊び活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	0
	5	必要に応じて、こどもが個別の相談や指導を利用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	0
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（評価設定と振り返り）に、出べ職員が参画しているか。	100%	0%	0
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	0
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	柿代、納代共に意見交換を行っております。
	9	第三者による合同評価を行い、評価結果等を業務改善につなげているか。	100%	0%	0
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内部で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	毎月研修し、研修報告書も作成しております。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	0
	12	通うのこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%	0%	0
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が外部研修の下で、こどもの最後の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	0
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	100%	0%	キニシリング会議、児童評価を全員で行い、支援内容を共有しております。
	15	こどもの最近行動の状況を、標準化された「ツール」を用いたフォーマルなアセスメントや、日々のお客様部分（毛）などのインフォーマルなアセスメントを活用する等により確認しているか。	100%	0%	0
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「関係機関等との連携」、「家族支援」、「地域支援・地域連携」のなかから、次の支援が必要な項目が適切に設定されているか。また、それぞれに対する支援内容が明確にされているか。	100%	0%	0
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	活動記録を作成し、その日のリーダーが内容を共有しております。
	18	活動プログラムが固定化しないようご工夫しているか。	100%	0%	運動療育だけではなく様々な活動を取り入れております。（映画運動、お買い物体験、外出イベント等）
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適切組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	活動記録を作成し、その日のリーダーが内容を共有しております。
	20	支援開始前には職員間でよく打ち合わせを行い、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	活動記録を作成し、その日のリーダーが内容を共有しております。
	21	支援終了後には、職員間でよく打ち合わせを行い、その日に行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	支援終了後に共有して内容を記録し、次の日も内容に目を通しております。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	活動記録を作成し、その日のリーダーが内容を共有しております。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を検討し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	全員で行っております。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を適切組み合わせて支援を行っているか。	100%	0%	0
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている場合、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%	外予期が例外でも参ようりたポートしております。
関係機関や保護者との連携	26	保護者相談や放課後等デイサービス利用者数及び関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	0
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	0
	28	学校との情報共有（地域区分第一行事予定表の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%	0%	0
	29	放学後に利用している保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	83%	17%	新１年生の保護者さまに園から情報提供をしていただくようお願いしております。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している。	33%	67%	0
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	33%	67%	0
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと交流する機会があるか。	100%	0%	児童館を利用しております。
	33	「向こう三軒」協議会等へ継続的に参加している。	33%	67%	0
	34	日頃からこどもの状況や保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	0
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	33%	67%	0
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について平易な説明を行っているか。	100%	0%	0
	37	放課後等デイサービス提供を行う際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最適な利益の最優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	0
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画への同意を得ているか 。	100%	0%	0
	39	家族宛からの子育て相談や他に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	面談時に対応しております。
	40	公開の場の活動を共有することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける場の提供しているか。また、ホームページ等を活用する場合も家族等へ。	33%	67%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している。	100%	0%	各事業所の苦情窓口を設定するとともに、各事業所にご相談しやすい内容は、組織受付窓口に相談と参ようこ整えており、苦声を扱った際には迅速に対応しております。
	42	定期的に通信を発行することや、HP やSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡事項の情報をこどもや保護者に対して発信している。	100%	0%	月ごとに活動予定を発信し、また、毎日ブログを作成し、活動の様子をご確認いただける取り組みを行なっております。
	43	個人情報の取扱いに十分留意している。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や取扱時などに力を入れております。
	44	保護のあるこどもや保護者との関係の調整や問題解決のための配慮をしている。	100%	0%	より円滑にお伝え出来るように努めております。
	45	事業所が日常に地域住民を招待する場、地域に開かれた事業運営を図っているか。	33%	67%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルなど策定し、職員や事故等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	毎月チェックシートを記入し再確認しております。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、消火その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	年２回訓練実施（６月１２月）しております。
	48	事故に、保護者や関係機、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	日別に確認しております。
	49	食物アレルギーがあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	一覧表を作成し職員が一目でわかるようにお知らしております。
	50	安否確認を作成し、安否確認に必要な連絡や訓練、その他必要な措置を講じる場、安否確認チャットが活用され安否確認が行われているか。	100%	0%	定期的に行っております。
	51	こどもの安全確保に関して、事故等との連携が図られるよう、安否確認に基づく制約内容について、事故等へ通知しているか。	100%	0%	必要に応じて周知を行っております。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた対策について検討をしているか。	100%	0%	事例集ではありませんが、出来ごとをも記入し、事業所でヒヤリハットを確認共有しております。また、他事業所の取組みを共有する機会を設けております。
	53	感染を防止するため、職員の研修機会を確保する場、適切な対応をしているか。	100%	0%	研修資料で確認しております。
	54	どのような場合にやめを保ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前にその説明と了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%	0%	現状的・身代謝的・一時性を満たしている場合と、身体拘束を行った場合には記録を行っております。また、計画書にも反映しております。

※この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

（別紙５）

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	サカフル西宮店

公表日　2025 年 2 月 1 日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用児童が移動支援型のスペースとの関係で適切である。	100%	0%	用途に合わせたフロアをご用意しております。
	2	利用児童やこどもの特徴に対して、職員の配置数は適切である。	100%	0%	教育や経験と資格の各職員を配置して、人員配事を高めています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造された環境になっている。また、事業所の設備は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境と配慮が適切になされている。	100%	0%	必要に応じて職員がフォローを行っています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、こどもの過の活動に合わせた空間となっている。	100%	0%	常に清潔を心掛け、清掃を行っております。また、室内で運動がしやすいよう広い空間を確保するため、整理整頓を心掛けております。
	5	必要に応じて、こどもが個別の相談や指導を使用することが認められる環境になっている。	100%	0%	必要に応じて個別の相談や使用できるようになっております。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（評価設定と振り返り）に、全く職員が参画している。	100%	0%	定期的に会議を開催して話し合い を行っております。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	100%	0%	アンケート結果や、面接やコミュニケーションから保護者様のお声を深掘り、改善できるように努めていきたいと思っています。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	100%	0%	定期的に職員会議を開き、意見交換や、業務改善につなげられるようにしています。
	9	第三者による合同評価を行い、評価結果等を業務改善につなげている。	0%	100%	今後検討していきたいと思います。
	10	職員の資質向上を図るために、研修を受講する機会や法人内部で研修を開催する機会が確保されている。	100%	0%	全体研修のほかに、研修動画の視聴による知識向上に力を入れております。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されている。	100%	0%	事業所のホームページ内にて公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している。	100%	0%	アセスメント用紙だけでなく、保護者様からのご要望や お子さまの様子を お伺い し、計画を作成できるように努めています。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が外部研修の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われている。	100%	0%	計画を作成する際には会議を開き、外部研修しかとで作成しております。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われている。	100%	0%	職員会議を開き、サービス計画内容を共有した上で、支援を行っております。
	15	こどもの最近行動の状況を、標準化された ツールを用いたフォーマルなアセスメント、日々のく現場担当こども達のインフォーマルなアセスメントを使用する事により確認している。	100%	0%	アセスメントツールを当部に当たり適切行動の参考として活用しております。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「関係支援」、「移行支援」、「地域支援・関係調整」のなかいづれか適切な選ぶまたは示し、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されている。	100%	0%	それぞれのお子さまに向けた支援をふまえまたは示し、検討しております。
	17	支援プログラムの立案をチームで行っている。	100%	0%	児童発達支援計画には、必要な項目が適切に選択され、その方法で、具体的な支援内容が設定されております。
	18	支援プログラムが固定化しないよう工夫している。	100%	0%	改善が必要な場合、内容を見直して反復改善図られるようにしています。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適切組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われている。	100%	0%	ご要望に応じて、個別対応や集団でのかかわり方や必要な支援を計画に取り入れております。
	20	全体活動時には職員間でよく打ち合わせを行い、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っている。	100%	0%	情報共有できるよう、記録やICT端末によるコミュニケーション等で確認に努めています。
	21	支援終了後には、職員間でよく打ち合わせを行い、その日に行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している。	100%	0%	情報共有できるよう、記録やICT端末によるコミュニケーション等で確認に努めています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている。	100%	0%	客観的に分析できるように事実と意見を分けて記入すると努めております。また、モニタリング内容は日々のケア記録を参考に次の目標を考えています。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を検討し、適切な見直しを行っている。	100%	0%	お子さまの状況や必要性に応じて適切な見直しを行っております。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を適切組み合わせて支援を行っている。	100%	0%	基本活動を考慮した上でレクリエーションを設定しています。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている場合、自己決定を支援する力を育てるための支援を行っている。	100%	0%	自己選択できるよう、教材や準備したり環境を整えております。
関係機関や保護者との連携	26	保護者相談や放課後用のサービス内容や提供方法や関係機関との対応に、そのこどもの状況をよく理解した専門家になっている。	100%	0%	お子さまの状況をより理解している職員が参加出来るように努めています。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えている。	100%	0%	必要に応じて適切連携を行う体制を整えております。
	28	学校との情報共有（地域区分第一行事予定表の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（通園時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている。	100%	0%	必要に応じて適切連携を行う体制を整えております。
	29	放学後に利用している保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている。	100%	0%	必要に応じて情報共有を させていただきます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する取 り組んでいる。	100%	0%	ご要望に応じて、対応させていただいております。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けている。	100%	0%	問題があった際には情報交換を行います。研修の機会があれば積極的に参加させて頂きます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと交流する機会があるか。	0%	100%	機会があれば参加していきたいと思います。
	33	「地区支援」協議会等へ積極的に参加している。	0%	100%	機会があれば参加していきたいと思います。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っている。	100%	0%	連絡帳の際に お子様の様子を お伝え させて頂いたり、電子記録を提供させて頂く等して共通理解を持てるように努めております。
	35	事故の対応力の向上を図る観点から、事故に対して事故安全プログラム（ヘプレント・トレーニング等）や事故等の事態であ る研修の場合や情報提供等を行っている。	100%	0%	こちらの対応方法等を「本日の様子」として日々情報発信し、ご家庭でのお話しに活用いただけるように努めていきたいと思います。事故等の事態である研修の場合があれば積極的に情報提供を行っていきたいと思います。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っている。	100%	0%	ご契約の際に説明させて頂き、また、ご不明点に関しては随時ご説明させて頂いております。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の最大限考慮の観点を踏まえて、こどもや事業の意向を確認する機会を設けている。	100%	0%	アセスメント時に保護者様の要望、ご本人様の要望をお聞き し、事業の尊重をしながらサービス提供をさせて頂いております。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ている。	100%	0%	支援内容の説明を行い、保護者様からサービス計画の同意を いただいております。
	39	事故発生からの子育て相談や他に対する相談に適切に対応し、面談や必要な助言と支援を行っている。	100%	0%	ご希望に応じて面談、ご相談にむけています。
	40	公知の方の活動を支援することや、保護者会等を開催する事により、保護者同士で交流する機会を設ける取り組みを行っている。また、ホームページ等を活用して交流する機会を設ける取り組みを行っている。	0%	100%	ご希望に応じて、対応させて頂いております。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している。	100%	0%	各事業所の苦情窓口を設定するとともに、各事業所に相談しづらい内容は、総合受付窓口にて相談できるように整えており、お声を頂いた際には迅速に対応しています。
	42	定期的に通信を発行するとともに、HP やSNS等を活用することにより、活動概要やイ行事予定、連絡事項の情報をこどもや保護者に対して発信している。	100%	0%	毎日プログラムを作成し、活動の様子をご確認いただける取り組みを行っております。
	43	個人情報の取扱いに十分留意している。	100%	0%	入社時に誓約書にて確認し、個人情報の保護や取扱時とご力を入れています。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の調達や情報伝達のための配慮をしている。	100%	0%	より円滑にお伝えできるように努めています。
	45	事業所が日常に地域住民を招待する場、地域に開かれた事業運営を図っている。	0%	100%	今後検討していきたいと思います。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアルなど策定し、職員や事業所に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している。	100%	0%	必要に応じて実施を行っております。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、訓練その他必要な訓練を行っている。	100%	0%	定期的に訓練を行っております。
	48	事故に、保護者不在の時間、てんかん発作等のこどもの状況を確認している。	100%	0%	日常的に保護者様からお聞き し、状況確認をさせて頂いております。
	49	自然アレルギーのあるこどもについて、医療の指示書に基づく対応がされている。	100%	0%	一覧表を作成し、職員が一目でわかるような工夫をしています。
	50	女性計画を作成し、女性管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じ、女性管理が十分されたかや女性が行われている。	100%	0%	女性計画を作成し、定期的に研修や訓練を行い、女性管理をしています。
	51	こどもの安全確保に関して、事故等との連携が図られるよう、女性計画に基づく制度内容について、事業所へ周知している。	100%	0%	医療時の対応を記した書類を配布し、緊急連絡先を提出していただいたり、適時対応のようにしています。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた対策について検討をしている。	100%	0%	会議ごとで報告 を し、事業所でヒヤリハットを確認共有しています。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する場、適切な対応をしている。	100%	0%	虐待防止委員会を設置するとともに、定期的な全体研修を行い、虐待防止に努めております。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、このこども保護者に事前にその旨説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している。	100%	0%	現状時・非代謝時・一時性を満たしている場合と、身体拘束を行った場合には記録を行っております。また、計画書にも記載しております。

※この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。